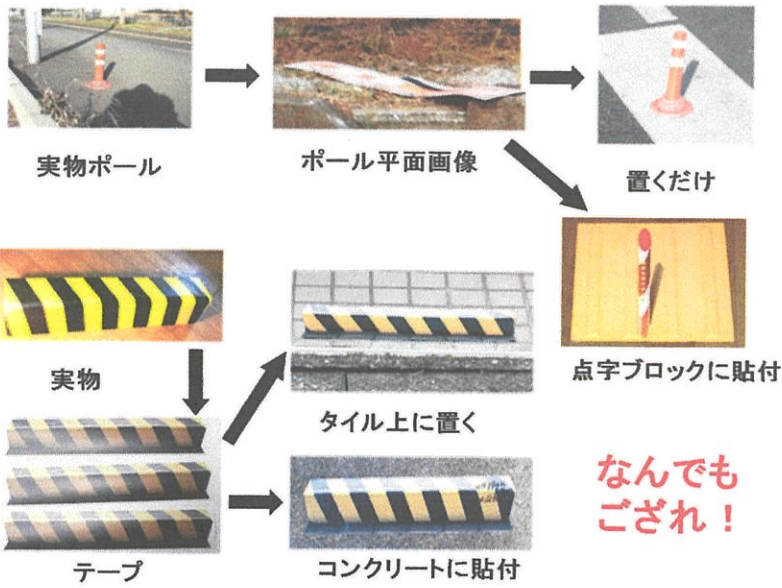


新技術の提案(様式2-1)

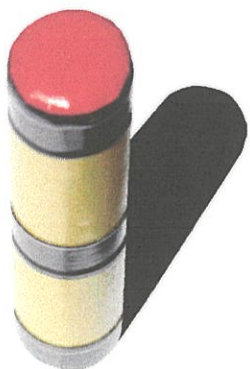
NO.

作成日 令和4年2月18日

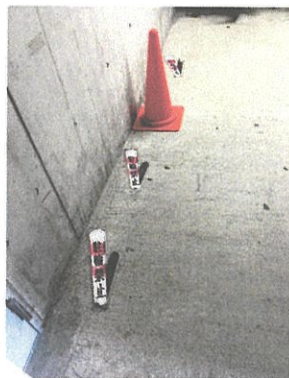
分野	1. 土木	工種	3. 道路		
技術の名称	立体視覚による分離方法			NETIS 番号	KT-200157-A
副題(商標名等)	平面画像の立体認識技術・製品による違法駐停車等交通対策			登録(申請)年月日	令和3年4月1日
応募技術条件 チェック	次のいずれかの項目に適合(該当項目の口をチェック下さい)				
	<input checked="" type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等が開発したもの。			
	<input type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等(協会、組合等を含む)が中心となって開発したもの			
効果	右番号から選択 1	1 コストの縮減	6 施工性の向上	分類 1	1 工法
		2 安全性向上	7 その他		2 材料
		3 品質の向上	効果を選択した理由を 下記概要や特徴に含めて 記入してください		3 機械
		4 工期の短縮			4 情報
		5 環境			5 その他
開発者 (提案者)	会社名	株式会社 一心助け			
	住所	千葉県柏市みどり台4-23-3	TEL	04-7132-2415	
問合せ先	会社名	株式会社 一心助け			
	担当部署	経営			
	氏名	鈴木英雄			
	住所	千葉県柏市みどり台4-23-3			
	TEL	04-7132-2415	FAX	04-7132-2415	
	URL	http://www8.plala.or.jp/tasuke/			
E-mail	yq@jade.plala.or.jp				
概要 ラバーポール等の立体認識画像シートを貼付することにより車両や人車両分離や注意喚起を発揮する技術で、従来はラバーポールを設置していた。本技術の活用によりラバーポール設置による破損がなく品質の、向上・経済性の向上が期待できる。					
特徴 従来は、ラバーポールを設置していたので、高価で施工に時間を要し、また、衝突する危険性があるという課題があったが、本技術の活用により、安価で短時間で施工でき、衝突することもなくなり、品質の向上、経済性の向上が図れる。					
施工方法 交通規制→貼付面掃除・異物除去→平面画像貼付用テンプレート設置→テンプレート内に接着剤貼付→テンプレート内に平面画像ポールの立体視シートを貼付→貼付したシートをゴムハンマー等で接着強化→平面画像貼付用テンプレート取り外し→接着剤上に砂等を散布→路面開放					
施工・材料単価(従来との比較) 基準とする数量:10本(枚) 2019年7月時点 従来技術:経済性 250,000円 新技術:経済性 125,000円 向上の程度50% 従来技術:行程 5日 新技術:行程 1日 向上の程度80%					
適用条件・範囲 交通分離帯で帯水していない平面な場所 狭い場所で実物ポール等が設置困難な場所 降雪時に雪をさえぎる構造物等がある場所					
施工・使用後の環境への影響 施工時の振動・騒音等がない					
施工・使用上の留意点 泥や土の現場、常時水分が浮き出す・かかる場所、凹凸が激しい場所についてはお問合せください。 降雪時には視認ができなくなる場合があります。 施工時・1ヶ月後・6ヶ月後・1年後の点検。					
実績状況(相手先、件数など) 越谷市しらこぼと水上公園自動車出入り道路幅6m×300m 10m間隔で貼付 4年以上、施工前の違法駐停車・中央走行・道路混雑が激減。 三鷹市地下駐輪場:違法駐輪が激減。					
その他(特許番号、各種適合基準、グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど) 特許5457584号 特許6071082号					



逆走事故防止例



オリジナルポール



三鷹地下駐輪場貼付



白線平面画像の立体視



トラハンプ平面画像の立体視